

支 援

町田市教育委員会
指導課長 小池 慎一郎

2011年度 第1回ボランティアコーディネーター 地区別ミーティング始まる (5/23～)

5月23日(月)に行われた中学校の合同ミーティングを皮切りに、翌日には小山田南小学校での小学校第1地区ミーティングと、地区別ミーティングが始まりました。会場校のボランティアコーディネーター様には、日時の決定や準備で大変お世話になっております。それぞれの地区内の学校を順番に回り、学校や学区の様子を見たり、校長先生のお話を聞いたりすることも視野を広げることにつながると思います。

来年1月にも、地区別のミーティングを開く予定です。それぞれの地区において3校目の開催になりますが、その節はよろしくお祈りいたします。



中学校 VC ミーティング (町田市教育センター)



小学校第1地区 VC ミーティング (小山田南小)

さて、中学校部会では、校長会担当の布施 洋輔 小山田中学校長にもご参加いただき、アドバイザーに小平第二中学校コーディネーターの 布 昭子 氏をお迎えし、中学校での活動の切り口やボランティア活用のあり方をみんなで話し合いました。ボランティアの選択、育成におけるコーディネーターの役割という視点を学ぶことが出来ました。

小学校では、昨年度の活動実績をまとめ新しい学年スタッフに知らせたり、各学年からの要望を集約したりしていることと思います。第1地区では、各校の実績を情報交換し、よりよい活動にするために話し合いました。

学校長の経営方針、重点の置き方、学区の特性などが異なりますので、他校の実績を聞き全ての学校が同じことをする必要はありません。ただ、地域や保護者の方に学校教育の支援者になっていただくことによって、風通しのよい開かれた学校になればと思います。この点においてだけは、町田市内の公立小・中学校ボランティアコーディネーターは、足並みをそろえて活動していきたいと思っております。

学校支援センターからは情報提供の中で、今年度の特徴的な動きとして、学生ボランティアが増えてきたこと、遠足の引率補助など単発のボランティアの問い合わせが出てきたことを話しています。さらに活用の範囲を広げていきたいと思っておりますので、何かありましたらご連絡ください。

インスタントコーヒーのビンでカブトムシの幼虫を育てよう…鶴川二小3年生

鶴川第二小学校では、2004年度から「おやじの会」が校地の一面でカブトムシの幼虫を育て理科の授業に活用しています。今年度も、5月2日（月）に3年生が飼育施設からカブトムシの幼虫を掘り出し、インスタントコーヒーの空きびんに入れて飼育を開始しました。

古くなっただけのほだ木にもぐりこんで食べている幼虫がいたり、残念ながら死んでいる幼虫がいたりして、子ども達はびっくりしていました。重さを量ると大きなものは35gを超える幼虫もありました。観察図を描き、気がついたことを文章で書いた後、ビンの中にもぐりこんでいく様子を観察しました。その後、びんの周りを観察記録用紙もかねた紙で巻きました。そうすることで、うまくいくと幼虫→さなぎ→成虫の様子がびんの外側から見られるそうです。

今回はゲストティーチャーとして玉川大学の先生とおやじの会の方が指導してくださいました。お手伝いを、玉川大学の学生3人と保護者の方がやってくださり、3年生全員分、124匹の幼虫がインスタントコーヒーの空きびんに納まりました。



木曾の地域たんけん…忠生三小3年生

ほとんどの小学校が、3年生で地域たんけんや地域めぐりをすると思います。3・4年生の社会科副読本「わたしたちの町田」も改訂され、写真も新しくなりました。忠生第三小学校では、4月25日（月）に3年生が社会科の学習で学校の周りのようすを調べるために「地域たんけん」に行きました。

木曾地域は歴史が古く、「わたしたちの町田」の「町に残る古いもの」として、一里塚とお地藏さまが写真とともに紹介されています。それも合わせて木曾の観音堂や秋葉神社も見学に行きました。観音堂では12年に一度のご開帳で、住職さんの説明を受けながら観音様を見せていただきました。

今年度の地域たんけんはすでに終了したと思いますが、この授業はコーディネーターや地域の方が活躍するチャンスです。改訂された「わたしたちの町田」を未読の方は、ぜひ見せてもらってください。



ボランティア紹介とこれまでの結果

学校支援センターの重要な業務に、人材の紹介があります。町田市で学校支援センターが活動を始めて足掛け4年となり、コーディネーターさんが地域で人材を探すケースが増えたり、シルバー人材センターに派遣していただいたりすることが多くなったためか、学生以外で登録されている人材の紹介が減っているような気がします。

最近の登録者を中心に、学生以外でどんな方が登録されているのか、一部を紹介します。授業のゲストティーチャーやサマースクールの講師、中学校部活動の指導者としてご活用くださればありがたいです。また、学生の登録も多く、特に中学校でやりたいという学生が増えています。授業支援や補習学習においてニーズがある学校はご連絡ください。

- ① 部活動剣道指導ボランティア
- ② 部活動バドミントン指導ボランティア
- ③ 中学校不登校指導ボランティア
- ④ 合唱指導・合奏指導
- ⑤ エレクトーン演奏
- ⑥ 小学校英語指導
1・2年生の活動も検討中
- ⑦ 情報モラルの指導（携帯電話等）
児童向け・保護者向け
- ⑧ 木彫看板・筆文字デザイン
- ⑨ 世界の山の写真紹介
- ⑩ 小学生パソコン指導
- ⑪ 習字・賞状の揮毫
- ⑫ 切り絵・3D工作
- ⑬ 陶芸指導
- ⑭ 絵手紙
- ⑮ そろばん
- ⑯ 着付け・組みひも
- ⑰ アマチュア無線
- ⑱ エコネット町田・環境教育
(川、魚、小鳥、川の清掃ボランティア体験)
- ⑲ 発明協会（理科工作）
サマースクールに最適・中学校の部活動
- ⑳ 能の体験教室
- ㉑ キッズの気象実験

-紹介件数と結果-

【連携団体】

- 環境資源部ごみ減量課・清掃事務所
ごみと環境についての出前講座 20校利用
- シルバー人材センター（小学校 9校 23人）
 - ・絵手紙 ・元アナウンサー ・HP更新
 - ・学習支援 ・クラブ活動指導 ・水墨画
 - ・環境整備 ・飼育昆虫の世話

【紹介件数】

5月末日までに、10校 25人を紹介し、学生を中心に13人のコーディネートが成立しました。

【登録状況】

2011年に入り、40人が登録してくださっています。

2011年度 町田市学校支援実行委員会連絡協議会・町田市学校支援連絡会開催のお知らせ

・日 時

2011年6月30日（木） 13:30～15:30

・場 所

町田市教育センター 4階 大会議室

・内 容

実行委員会の解散と連絡会の発足について

草の笛 レベル表

町田市学校支援センター

春の野遊びとして、昔からさまざまな植物を使った笛で、子どもたちは遊んでいました。このような遊びを知っている方が必ず地域におられると思います。大人も子どもも教員も、学んで伝承することによって、環境教育の一環になると思います。挑戦してみてください。

レベル	材料(植物名)	やり方
レベル1	タンポポの軸	<ul style="list-style-type: none"> ・軸をおり5～10cmにする。 ・茎の先を歯で噛んでつぶし細いほうから吹く。
レベル2	麦の茎	<ul style="list-style-type: none"> ・麦の茎を5cmくらいに切る。 ・片方の切り口を歯で少し噛み強く吹くと鳴る。
レベル3	アシの丸まっている先の葉	<ul style="list-style-type: none"> ・先をそーと引き抜く。 ・外側の丸い葉だけとり、丸める。 ・太いほうを吹く。
レベル4	スズメノデツポウの茎	<ul style="list-style-type: none"> ・晩春の田んぼに咲くスズメノデツポウを根元から切り取る。 ・穂先を抜いて、抜いたところを吹くと小さな音が出る。
レベル5	ノカンゾウの葉の根元	<ul style="list-style-type: none"> ・ノカンゾウを引き抜く。 ・外側の葉を根元まではがす。 ・根元から6～7cmで切り取る。 ・水洗いし強く葉のとじている部分を吸う。
レベル6	アシや竹の葉	<ul style="list-style-type: none"> ・葉を取り、軸のほうから巻く。 ・両端を交互に押しつぶすようにする。 ・そーと吹く。
レベル7	カラスノエンドウの熟した実	<ul style="list-style-type: none"> ・外側を爪の先で割り種を出す。 ・軸のほうを5ミリ位切り取る。 ・実の先を広げ元はすぼめる。 ・実の先半分を口に入れ吹く。
レベル8	木や草の葉	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな草の葉を唇に当てて両端を指で押さえ、吹く。
レベル9	ツバキ・お茶の実	<ul style="list-style-type: none"> ・種のとがったほうをコンクリートにこすりつけ、穴を開ける ・中身をほじくり出す。 ・穴の一部を吹くと音が出る。
レベル10	ほおずきの赤く熟した実	<ul style="list-style-type: none"> ・中身をよくもみ出して種を抜く。空になったらよく洗い、口にくわえてふくらませたものを口でそーとつぶすと音が出る。
レベル11	しの竹	<ul style="list-style-type: none"> ・しの竹の節をさけて6cmくらいに切る。 ・一方を斜めに切りこれにその葉をつけ、これを吹いて遊ぶ。